

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 6 月 8 日(金)

第 9 号

発行人 校長 鈴木史良

“善戦全笑”の達成

——天候に恵まれた蒼葉祭体育の部、感動のうちに閉幕——

蒼葉祭体育の部を予定通り 6 月 2 日（土）に実施しました。昨年一昨年も雨天順延された体育の部でしたので、3 年生にとっては中学校に入学して初めて予定通り開催された体育の部となりました。本校に長く勤務する先生方も予定通りできたのは初めてという声がありました。

さて、この日は早朝から適度に薄雲が広がり、運動をするに絶好のコンディションとなりました。グラウンドもきれいに整備され、最高のコンディションの中、待ちに待った体育の部が始まりました。

開会式のセレモニー、その中で生徒会長の鈴木仁平君をはじめ

めとする本部役員の生徒たちの意気込みはすばらしく、体育の部のスローガンである“善戦全笑”を掲げて全校生徒たちを引っ張りました。カラーリーダーも必死になってそれぞれ赤組、白組を盛り上げました。生徒たちは体育の部の成功を期して、自分の意気込みを作り、それぞれの種目に臨みました。ここにその一部を紹介します。

- 最後まであきらめないで頑張ります。
- 最後の体育祭、一所懸命走ります。

多くの生徒たちが上記のような意気込みをもって走りました。“一所懸命がカッコいい”を身上とする深中生にふさわしい意気込みです。

また、中には自分の思いを工夫して表現した意気込みの言葉もありました。

- さわやかに走り、観客を魅了します。
- 怖くない、カッコいい僕を見てください。
- 俺は昔、100mの帝王と呼ばれた男だ。
- 東北に届け！ 俺のスピリット。

個性的な表現がいいですね。先輩として1年生に深中魂を伝えられたのではないのでしょうか。東北に届け！の思いはこの日のPTA募金活動にもつながり、なんと19,000円を超える募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



生徒会長の力強い言葉



赤白カラーリーダーによる宣誓



団結力の証、円陣で気合い注入

今年は来賓の皆様に、深中体操と赤組、白組による円陣をアンケート形式で評価していただき、その結果が得点に加点されるなど、新たな工夫がみられました。来賓の皆様も快く審査していただき、感謝申し上げます。

100mや200mの徒競走では、どの生徒もゴールを目指して全力で走ることができました。1位になってもビリになっても、そのひたむきさに心うたれました。

団体種目では、これまでの練習の成果を存分に出してくれたと思います。名物の「百足競走」で見せた3Aのすばらしいスピードには驚きました。全員が息を合わせ、「3A！ドスコイ」と声を出し合って、まるで力強い機関車のようなようでした。3Aに続いた3Bの団結力も立派でした。1年生は30名という長い百足になりましたが、みんなで力を合わせる大切さを学んでくれたことと思います。

「長縄跳び」では、1年生、2年生、3年生、どの学年も団結力を感じました。勝負という面では3年生の戦いに見応えがありました。百足競走で3Aに後れをとった3Bでしたが、長縄跳びでは3Bの勝利となり、意地を見せてくれました。

赤白チームの直接対抗である「大旋風」では、抜きつ抜かれつの大接戦が繰り広げられ、観客を魅了しました。「綱引き」では赤組男子と白組女子の圧倒的なパワーに驚きました。最後にお父さんお母さん方と生徒たちが戦った勝負もすばらしかったです。

ここで特筆すべきは、応援団の活躍です。今年は赤白対抗の応援合戦が繰り広げられました。赤組団長下杉秀朗君、白組団長小林民人君の全身から振り絞られた声は身震いするほどの迫力がありました。応援団の一挙手一投足が見るものの気持ちを引き締め、勇気を与えてくれました。応援団の思いが全校生徒たちにも響き、身をそらせて声を出す立派な応援となりました。どちらも立派で優劣はつけられませんでした。

そして迎えた最後の競技種目、学級対抗リレー。生徒たちは毎朝早く登校し、何度もバトンリレーを練習してきました。速い子も遅い子もいる中、クラスで作戦を立て、チームワークを大切にして本番に臨み、どの学年もすばらしいリレーを見せてくれました。全員が心をついに、自分の力を精一杯出し切って走っている……必死で走る生徒たちの姿がはつらつとして、深良の森に輝いて見えました。

総合では赤組の勝利でした。しかし、白組も精一杯悔いなくがんばったと思います。ご来校賜り、生徒たちを応援してくださった来賓、保護者の皆様に感謝申し上げます。



勝利を目指して団結だ！



みんなで息を合わせ、それ引け！



応援団の必死の頑張りに感動！